

中小企業振興条例マンガ

第四話「オール鹿児島」

漫画: jorikokopy

よーしみんなでこの地域を盛り上げて行くぞー



なんだかこの街も活気が戻ってきた気がしますのー



本当

これでうちの会社も安泰ですわー

いえまだよ

ザッ

お母さん！
まだこのままじゃ安泰とは言えないわ！



あら
レイちゃん

天降川レイ 改め
明後日レイ

あ！
レイちゃん

あれが噂の最強の嫁か



人前で
ヤメて

かっちゃん、
あなたお兄さんが
いたわよね！今どこに？

え!?

兄貴なら東京の商社で働いているよ、

まっちゃん
の弟は？

〇〇社に就職
したから
名古屋だなー

あいつは
どこいったっけ？

たしか、
大阪に就職したろ？

…やっぱりね、
大企業や都会を目指して
多くの若者が鹿児島を出してしまう
のが今の現状、この現状を



打開
するには、

オール鹿児島で地域経済を良くする！

当シリーズの第1回目で中小企業憲章・中小企業振興条例の必要性について触れましたが、この運動は私たち同友会だけで完結するわけではありません。経済界のみならず、**地域住民、金融機関、教育機関、**そして何より**行政**に本気になって取り組んでもらう必要があります。

しかし、これまでどうしても私たちの頭の中が大企業中心であったように感じられます。学校も保護者も成績優秀であればあるほど大企業や官僚を目指すのが当たり前、みたいな空気がありました。こうした価値観を変える手立てとして「中小企業振興条例」は位置付けられますが、同友会は現在の「中小企業庁」を「中小企業省」に格上げし担当大臣を置くこと、さらに「中小企業の日」を制定することを提言しています。

また、こうした動きに合わせて毎年6月を「中小企業憲章・条例推進月間」と題して機運を盛り上げるとともに、経済産業省や日本商工会議所、商店街連盟などにも参加を呼びかけ国会議員との意見交換会を実施しています。今後も、県内において多くの団体の力を結集して「中小企業振興条例」の声を共に大きくしていきましょう。

振興条例の詳細は [同友会 振興条例](#)



考えていかなきゃ
いけないわ！

地域だけでなく、金融、教育、
行政機関や他団体と連携して
「オール鹿児島」で



そして鹿児島全体を
盛り上げるのよ！

みんなの力を結集して
「中小企業振興条例」の
声を大きく！